

Smart City

スマートシティと 数理・データサイエンス・ AI教育 シンポジウムのご案内

2021
3.4 木

14:00-16:15

Zoomによる
Webinar開催

定員：300名

社会のデジタル化が急速に進展する中、各自治体においてスマートシティの取り組みが加速している。市民の生活の質をあげ、持続的な経済発展を可能にするため、デジタル活用や様々なサービスの展開が提案されている。

一方、大学等においては、政府の「AI戦略2019」を受けて、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」のリテラシー教育を普及する取り組みが行われている。また、社会人も含めたデジタル人材の育成の重要性も指摘されている。

このシンポジウムでは、スマートシティの取り組みの現状と目指す方向性をご紹介いただくと共に、大学における「数理・データサイエンス・AI」教育の取り組みを紹介し、今後スマートシティを支えていく人材の育成をどのように進めていくべきかを議論したい。

申込先

下記URLの申し込み
フォームより
お申込みください



締切日

3/3

水

対象

国公立大学の教職員、数理・DS・AI教育に関心をお持ちの自治体職員・企業・一般の方、学生

主催：神戸大学数理・データサイエンスセンター

共催：神戸市

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム近畿ブロック

一般社団法人 デジタルトランスフォーメーション研究機構 (RIDX)

講演者プロフィール



中村 彰二郎

アクセンチュア株式会社 アクセンチュア・イノベーションセンター福島
センター共同統括 マネジング・ディレクター

「3.11」以降、福島県の復興に向けて設立した福島イノベーションセンターのセンター長に就任。震災復興および地方創生を実現するため、首都圏一極集中から機能分散配置を提唱、会津若松市をデジタルトランスフォーメーション実証の場と位置づけ先端企業集積を実現。そして、会津で実証したモデルを地域主導型スマートシティプラットフォーム（都市OS）として他地域へ展開、各地の地方創生プロジェクトに取り組んでいる。

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート理事 兼
三菱UFJリサーチ&コンサルティング専務執行役員

国内外のスマートシティおよびデジタルガバメントに関するリサーチ・政策提言・戦略アライアンス構築に従事。

Well-Being（幸福度）やLiveability（暮らしやすさ）、地球との共生といったコンセプトを重視した新たなスマートシティのアーキテクチャ・デザインに注力している。

三菱UFJフィナンシャル・グループおよび三菱UFJ銀行の執行役員経営情報統括部、経営企画部、財務企画部、リスク統括部、米州統括部の各部長を経て現職。



南雲 岳彦

神戸大学数理・データサイエンスセンター 副センター長

神戸大学 数理・データサイエンスセンター 副センター長、工学研究科電気電子工学専攻と未来医工学研究開発センター 教授を兼任。ニューラルネット、機械学習を用いたビッグデータ解析、特に、サイバーセキュリティ、プライバシー保護データマイニングなどの研究に従事。現在、Asia Pacific Neural Network Society 会長、International Neural Network Society 副会長(会員担当)、日本神経回路学会 特任理事(国際)、システム制御情報学会 理事、IEEE Trans. など国際ジャーナル4誌のAssociate Editorを務める。



小澤 誠一

タイムスケジュール

14:00	開会の挨拶
14:05-14:25	【講演1】中村 彰二郎氏 「Smart Cityによる自立分散社会の実現へ ～市民・地域主導によるデジタルイノベーション～」
14:25-14:45	【講演2】南雲 岳彦氏 「スマートシティの着眼点」
14:45-15:05	【講演3】小澤 誠一 「神戸大学におけるデジタル人材育成の取り組み」
15:10-16:10	【パネルディスカッション】 中村 彰二郎（アクセンチュアイノベーションセンター福島 センター共同統括） 西口 健二（日本総合研究所 常務理事） 藤岡 健（神戸市 企画調整局 つなぐラボ 担当部長） 小澤 誠一（神戸大学数理・データサイエンスセンター副センター長） 齋藤 政彦（神戸大学数理・データサイエンスセンターセンター長、司会）
16:10-16:15	閉会の挨拶